

自然のめぐみ

水しるべ

No.17

- 水源環境シリーズ
「水はどこからくるの？」 第8回
配水池から各家庭まで

- 一般財団法人 かながわ水・エネルギーサービスの
公益事業について



水・自然エネルギー体験等
イベントキャラクター
「サミー」



日本で最初の近代水道創設当時の獅子頭共用栓（水道記念館）



一般財団法人 かながわ水・エネルギーサービス

水はどこからくるの？

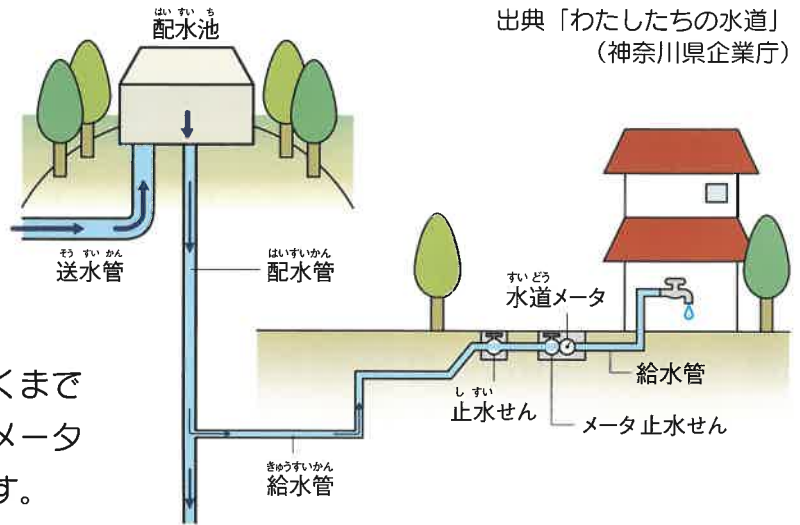
～第8回 配水池から各家庭まで～

水はどこからくるの？ 第8回目は各家庭にどのようにして水が届くのか学んでいくことにしましょう。

1 配水池から各家庭まで

配水池は高い所にあり、高い所から低い所へ水が流れる自然の力を利用して水を送っています。

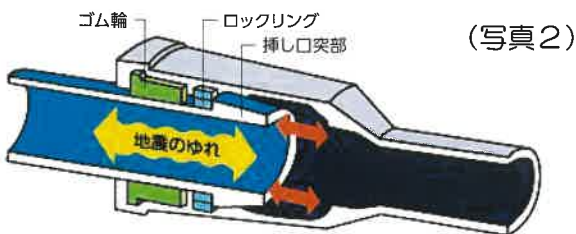
配水池から配水管を通して家の近くまで来た水道水は、給水管に入り、水道メータを通してわたしたちの家にとどきます。



(写真1)



水道管配管コーナー (水道記念館)



挿し口突部がロックリングにあたり、抜け出しを防止

2 水道管について (写真1)

(1) 配水管

道路の下を通っている水道管のことです。

(2) 給水管

配水管から分かれて家の蛇口までつづく水道管のことです。

(3) 災害や事故に備えるために

水道管の管と管のつぎ目が大きな地震で揺れても外れないように耐震継手管 (写真2) に取り替えて水道管を丈夫にしています。

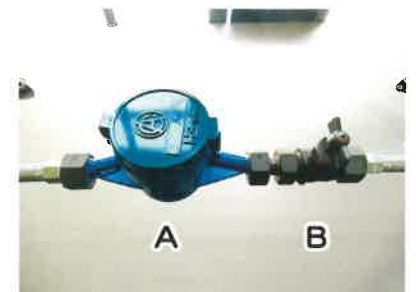
3 水道メータ

どのくらい水を使用したのかを測る機械です。(写真3・A)

4 メータバルブ

家の水道の元栓のことで、漏水の時や蛇口の交換などの時に閉めて工事をします。(写真3・B)

(写真3)

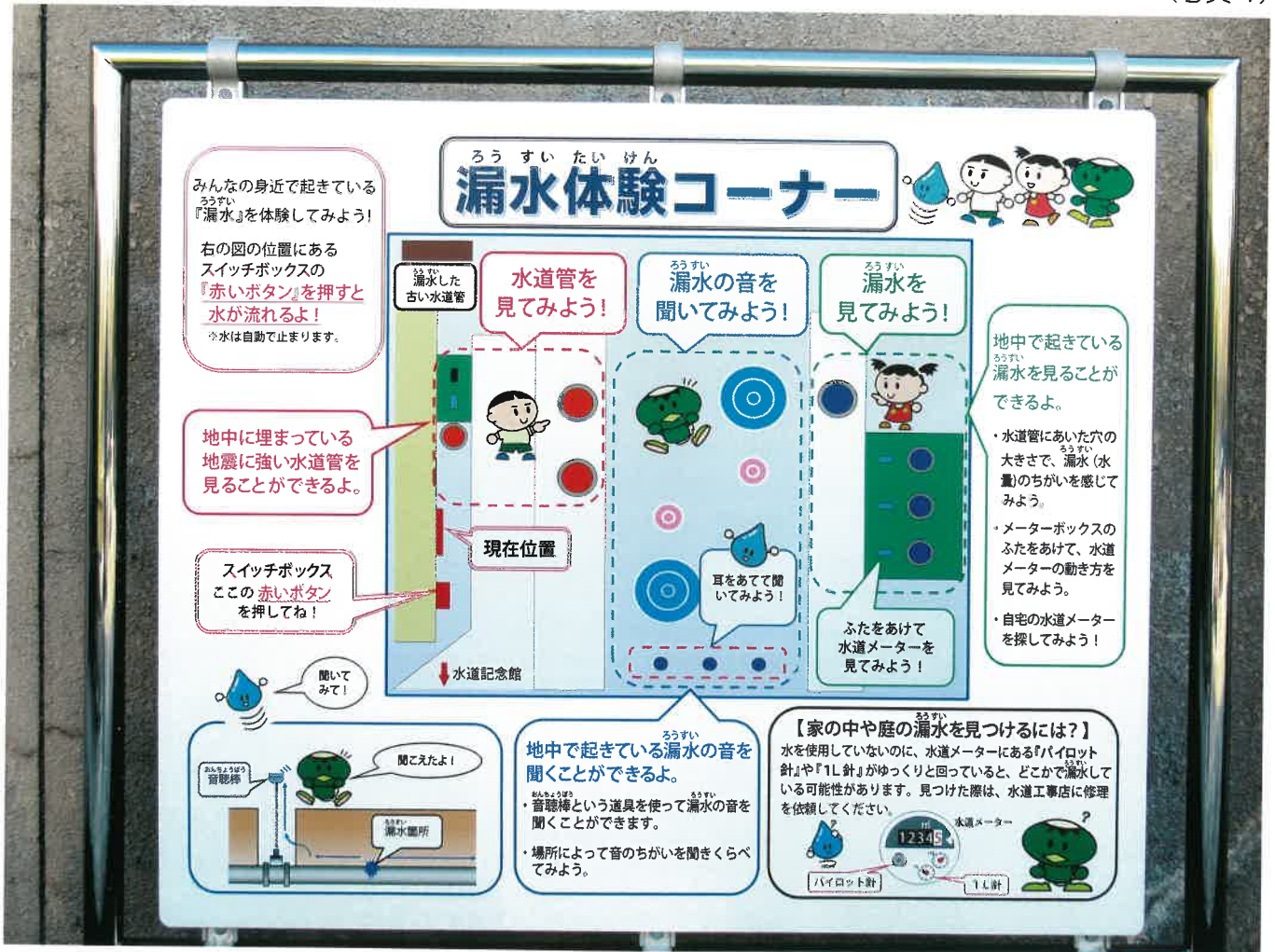


【水道記念館屋外施設のご案内】

漏水体験コーナー

寒川町にある水道記念館のこの施設では、水道管から水が漏れている様子を見たり、漏れの音を聞くことが体験できます。(写真4)

(写真4)



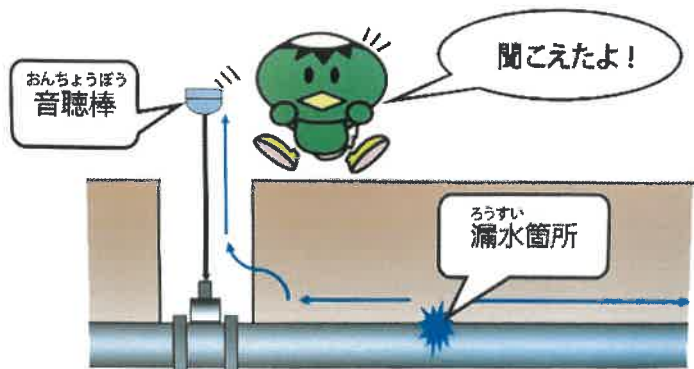
漏水とは

道路の地下には水道管がたくさんうまっています。

(写真5)

古くなった水道管は、穴が開いて水が漏れることがあり、これを漏水と呼びます。

水道営業所では、水道管や道路に伝わる漏水の音を聴くことができる特殊な道具(写真5)を使い、大きな事故になる前に大切な水道水が途中で漏れていないか調査しています。



一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスの公益事業について

神奈川県企業庁と協定を結び、水に関連する「歴史的・科学的展示物」を常設する企業庁の水道記念館の管理運営を行っています。

本年度の4～12月までの入館者数は19,787人です。

令和5年度 水・自然エネルギー等普及啓発事業実施結果

イベント名	水源林保全体験（竹林の除伐作業体験と間伐材を使ったクラフト工作）				
実施日	8月19日(土)	実施場所	県立21世紀の森 (南足柄市)	参加人数等	21人(子供11人) 応募者43人

竹林の除伐作業体験



間伐材を使ったクラフト工作



来年度も水・自然エネルギー体験の実施を予定しており、みなさんの参加をお待ちしております。

当財団では個人情報の取り扱いについてプライバシーマークを取得しています。

登録番号 10940023 (08)



10940023 (08)

当財団は森の町内会のサポーターです。



この印刷物の用紙は、森を元気にする間伐により切られた間伐材を製紙原料とすることにより、有効活用しています。

発行月 : 令和6年1月

発行所 : 一般財団法人かながわ水・エネルギーサービス
<https://www.kmes-kanagawa.or.jp/>

問合せ先 : 水道記念館

〒253-0106 高座郡寒川町宮山4001
電話 0467-74-3478 Fax 0467-75-8755
<http://www.kappy.jp/>

< 編集後記 >

当財団発行の「水しるべ」は、水源環境の保全・保護、水道事業の役割等について、皆様の御理解を深めていただくことを目的に公益事業の一貫とし発行しています。今回は「配水池から各家庭まで」について記載させていただきました。次回の「水しるべ」もお楽しみに。